

2013年7月分 (6)

Q. (地域の方によると) 大阪大学と合併以降、間谷周辺に住む学生数が激減、地域経済に大きな影響を与え、小売店、食堂等の閉店・規模縮小を余儀なくされているそうです。他のキャンパスに比べてへんぴな場所にあるのが学生離れの一因だと思いますが、キャンパス内の食堂は営業時間が短縮され、夕方以降は食事をとる手段が遥か遠くのコンビニしかなくなり、より「住みづらいキャンパス」になりました。

当面の諸問題は、つまるところ学生数(住んでいる)の減少によるものが大きいと考えられます。地元の不動産業者や生協と連携して学生を誘致するような活動(間谷周辺に住む学生への経済的援助等)を検討して欲しいです。

(2013年7月16日受理分)

A. ご意見ありがとうございました。相談室会議で話し合った上で、すぐに回答の出せるような問題ではないと判断し、今後箕面キャンパス全体に関するひとつの検討課題としていただけるよう、投書内容を学部長にお伝えしました。

(2013年7月26日 相談室より回答)